

## 関西哲学会第 68 回大会プログラム

日時 2015 年 10 月 24 日（土）、25 日（日）

場所 京都大学大学院 人間・環境学研究科

A 会場：人間・環境学研究科棟 B23（地下 1 階）

B 会場：総合館南棟 共南 21（2 階）

委員会室：人間・環境学研究科棟 333（3 階）

第 1 日目：2015 年 10 月 24 日（土）

### 個人研究発表

1 10:00-10:45

A 神の変容 スピノザの哲学における目的論の否定

柴田健志（鹿児島大学）

司会 上野修（大阪大学）

B 精神科学において客観的認識はいかにして可能か

—— 歴史的現実の内部で働く「運動」の概念 ——

入江祐加（大阪大学）

司会 工藤和男（同志社大学）

2 10:50-11:35

A スピノザにおける観念と対象の同一性

—— 『エチカ』第二部定理七備考について

小竹陽介（大阪大学）

司会 川添信介（京都大学）

B カルナップの『世界の論理的構築』における科学の統一

小川雄（同志社大学）

司会 伊藤邦武（龍谷大学）

3 11:40-12:25

A パスカルの認識論 自然・理性・恩寵

沖本龍哉（法政大学）

司会 吉永和加（岐阜聖徳学園大学）

B フーコーにおける「告白」の問題——精神医学批判とのかかわりから

武田宙也（日本学術振興会・大阪大学）

司会 宗像恵（神戸大学）

編集委員会 12:30-13:30

個人研究発表

4 13:35-14:20

A ケアの倫理における「関係性」

安井絢子（京都大学）

司会 須藤訓任（大阪大学）

B ボルツァーノによるカントの時空論批判 —無限論の観点から—

藤本忠（龍谷大学）

司会 松田毅（神戸大学）

5 14:25-15:10

A ヒュームにおける「自然的信念」とその「哲学的反省」

澤田和範（京都大学）

司会 新茂之（同志社大学）

B 「例外」としての死刑——キケロ『ラビリウス弁護』を巡って

大谷岳史（龍谷大学）

司会 中畑正志（京都大学）

6 15:15-16:00

A ヒューム哲学の自然主義的解釈の再考

—「経験」と「印象」を手がかりに—

豊川祥隆（京都大学）

司会 久米暁（関西学院大学）

B ヤコービのフィヒテ批判における衝動の問題

玉田龍太郎（滝川第二中学校・高等学校）

司会 田端信廣（同志社大学）

7 16:05-16:50

A 哲学系分野における学生はどのような「知識」・「技能」・「能力」を身につけるべきか—海外諸地域における「チューニング」の取り組みに着目して

田中一孝（京都大学）

司会 岡田勝明（姫路獨協大学）

B 感情によって知られる身体とは何か？

—ショーペンハウアー〈身体〉論の虚軸の検討

鳥越覚生（京都大学）

司会 井上克人（関西大学）

8 16:55-17:40

A ヘーゲルと貧困問題

樋口善郎（大阪学院大学）

司会 日下部吉信（立命館大学）

懇親会 18:00-

(会場：生協カフェレストラン「カンフォーラ」)

第2日目：2015年10月25日（日）

個人研究発表

9 10:30-11:15

- A 無神論的観点に基づいたコジエーヴのプラトン解釈  
——二分法に着目して——  
坂井礼文（京都外国語大学）  
司会 石崎嘉彦（摂南大学）
- B 偶然のなかの論理——メルロ＝ポンティと言語変化の問題  
佐野泰之（京都大学）  
司会 品川哲彦（関西大学）

10 11:20-12:05

- A 真実における類似性（プラトン『パイドロス』二七三D）  
早瀬篤（京都大学）  
司会 金山弥平（名古屋大学）
- B ハイデガー『存在と時間』における「非本来性」の二側面  
貫井隆（京都大学）  
司会 丸山徳次（龍谷大学）

委員会 12:10-13:10

個人研究発表

11 13:15-14:00

- A キケロの懐疑主義——「真に似たもの」の探求  
田中龍山（龍谷大学）  
司会 山口義久（大阪府立大学）

総会 14:00-14:30 （ A会場 ）

課題研究発表 14:45-17:15 （ A会場 ）

テーマ「真理論」

- 「表出主義とプラグマティストの真理観」 三谷尚澄（信州大学）  
「真理と痕跡——デリダとハイデガーの〈アレーティア〉」 亀井大輔（立命館大学）  
特定質問者 脇條靖弘（山口大学）  
司会 新茂之（同志社大学）  
上野修（大阪大学）